

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	兵庫県加古郡稲美町中一色883番	氏名	株式会社神戸物産 代表取締役社長 沼田 博和
特定事業者の主たる業種		52飲食料品卸売業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に業務スーパーへの食料品卸売を行っており、2020年3月末時点で全国で856店舗出店し、内、大阪府内では92店舗の出店を行っている。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		18,004 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		21,226 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		17,232 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		20,316 t-CO <sub>2</sub>	
	選択	目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

店舗の増加に比例してCO<sub>2</sub>排出量が増加いたしますので、店舗の業務売場面積に営業時間を乗じたCO<sub>2</sub>排出量の割合を原単価とします。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (業務売場面積 (㎡) × 営業時間 (h) )  
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

店舗の経年劣化による設備の見直しを推進する中で、改装または店舗の移転等が増加すると予測しております。その際には省エネ設備 (LED照明・省エネタイプの冷ケースその他冷凍冷蔵設備) の導入を推進して参ります。また、既存の店舗においては空調機器、照明器具、冷蔵・冷凍ショーケース等を適切に使用するように指導に努めて参ります。

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市東淀川区東淡路5-8-38	氏名	株式会社国際興業大阪 代表取締役 山本 康夫
特定事業者の主たる業種		43道路旅客運送業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に、タクシー事業で淡路営業所237台・我孫子営業所139台・茨木営業所36台・摂津営業所20台・観光バス事業で淡路営業所22台で合計454台で旅客運送事業を行っております		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		13,400 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		13,445 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		12,997 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		13,042 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.1 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

当社では令和元年度、シャトルバス運行の廃止によりシャトルバス3台を減車。令和元年度より2020年度燃費基準+30%達成車を代替え都度導入を行い燃料使用量の削減を行い温室効果ガスの削減に繋げていく。また、現在保有しておりますアイドリングストップ機能を搭載したエコカーのアイドリングストップ機能の有効活用やエコドライブの実施で燃料使用量の削減を行い温室効果ガスの削減に繋げていく。

以上を踏まえた上で3%削減の目標設定に致しました。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

休憩時間のアイドリングストップ、急発進、急ブレーキの抑制やタイヤの適正空気圧のドライバーへの指導教育を行い温室効果ガスの削減を目指す。施設管理では、休憩時間の消灯、不要エリアの消灯、冷暖房の設定温度を定め電気の使用量削減を目指す。

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府大阪市淀川区宮原1-6-10	氏名	株式会社 互恵会 代表取締役 土居 布加志
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		大阪市淀川区に位置し、21診療科、病床数300床を有する急性期病院である		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020年	4月	1日	～ 2023年 3月 31日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		2,753 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		2,912 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		2,670 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		2,825 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.1 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
今後2～3年をかけて施設内照明のLED化などを検討しているが、経済的な理由から大きな改善計画はまとまっていない。そのためこのような目標削減率となった。			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>エネルギー使用に関するデータの共有と、平年との比較を通じ改善を検討する会議を実施。またエネルギーの使用量の増減について、その場所や原因などの調査をおこなっている。</p>
--

## 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府枚方市春日北町1-40-1	氏名	寿ダイカスト工業株式会社 代表取締役 井上 博夫
特定事業者の主たる業種		23非鉄金属製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主にダイカスト製品の製造を行っている。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		4,431 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		4,685 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		4,298 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		4,544 t-CO <sub>2</sub>	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.1 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.1 %

目標削減率に関する考え方

当社はダイカスト部品の製造を行っており、ダイカスト部品生産によるアルミ使用量によって大きくエネルギーの使用量が変化します。従って、温室効果ガス削減対策としてはソフト面での省エネ活動を主に挙げており、このソフト面での省エネ活動を強化して工場全体の原単位ベースで排出量3%減を目指したいと考えます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 材料使用量 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

効率的な生産体制を強化する中で、省エネ活動とともに地球温暖化防止活動に取り組みます。
--

## 対策計画書

届出者	住所	東京都品川区東品川4-10-1	氏名	コナミスポーツ株式会社 代表取締役社長 有坂順一
特定事業者の主たる業種		80娯楽業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		フィットネスクラブ運営		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020年	4月	1日	～ 2023年 3月 31日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		13,194 t-CO <sub>2</sub>	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		14,338 t-CO <sub>2</sub>	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		12,540 t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		13,630 t-CO <sub>2</sub>	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	5.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	5.0 %

目標削減率に関する考え方

前計画期間中にプール・浴槽の循環ポンプのインバーター設置が完了したため、今計画期間中には老朽化した空調設備、ボイラーを高効率の機器に更新することと、LED照明器具への更新を進めることで、温室効果ガスの削減を推進していきます。

各エネルギー施策を積極的に実施し、計画期間中の温室効果ガス総排出量5%削減を目標とします。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

各施設の毎月の対前年のエネルギー使用量にもとづき、計画推進責任者および計画推進責任部署の担当者より、各施設の推進責任者(支店長)に具体的なエネルギー使用に関する指示指導を行う体制を確立しています。

社長

- 計画管理責任者<エネルギー管理統括者> (担当執行役員)
- 計画推進責任者 (兼) 技術管理者<エネルギー企画推進者> (施設開発部施設管理グループ 統括マネージャー)
- 【各施設】 推進責任者 (施設 支店長)